

平成24年 6月 8日

資料提供

三次記者クラブ

三次河川国道事務所からの
お知らせ

昭和47年7月豪雨災害から40年を迎えて

江の川流域では、昭和47年7月豪雨により死者・行方不明者28名、全半壊家屋約4千棟、浸水家屋約1万4千棟、また三次市で堤防が2ヶ所決壊するなど甚大な被害を受けました。

この47災害から今年で40年を迎えることから、47災害を振り返るとともに、今後の災害対応のあり方について考えるシンポジウムを開催しますのでお知らせします。

■実施日時：平成24年6月17日（日）9時30分～12時（予定）

■実施場所：みよしまちづくりセンター ペペらホール

三次市十日市西六丁目10番45号

■開催内容：別紙のとおり

■主催：三次市、庄原市、安芸高田市、広島県、国土交通省

●問い合わせ先 国土交通省三次河川国道事務所

（技）副所長 うめだ 梅田 としゆき 敏之

【広報担当】 建設専門官 なかい 中井 きみお 喜美男

TEL：(0824) 63 - 4121（代表）

FAX：(0824) 63 - 0210

昭和47年7月災害から40年を迎えて

主催：三次市・庄原市・安芸高田市
広島県・国土交通省

開催趣旨

江の川流域では、昭和47年7月豪雨により死者・行方不明者28名、全半壊家屋約4,000棟、浸水家屋約14,000棟、また三次市で堤防が2カ所決壊するなど甚大な被害を受けました。

この47災害から今年で40年を迎えることから、47災害を振り返るとともに、今後の災害対応のあり方について考える。

日時：平成24年6月17日（日） 9:30～12:00

会場：みよしまちづくりセンター 1階 ペペらホール

三次市十日市西六丁目10番45号 TEL 0824 - 64 - 0091

【プログラム】

- 講演：「近年の豪雨災害と今後の減災対策」
講演者 河原 能久（広島大学 大学院 教授）
- 江の川の河川整備について（47災害を受けて）
松浦 勇治（中国地方整備局 三次河川国道事務所長）
- 広島県の治水・防災事業について
財間 敏行（広島県 北部建設事務所長）
- 47災害を振り返り、今後の災害対策のあり方を考える！
鷲田 治通（元 建設省 三次工事事務所）
西田 正博（三次市消防団長）
元廣 修（三次市 総務部長）

【同時開催】昭和47年7月豪雨災害パネル展



昭和47年7月豪雨の被災記録 ～江の川上流域～



三次市作木町港地区



三次市栗屋町 栗屋橋



三次市十日市地区 市役所前通り



安芸高田市甲田町上甲立 旧国道54号

防災情報は、以下のホームページなどで確認できます。

- ◆国土交通省 川の防災情報
(パソコン版) <http://www.river.go.jp/>
(携帯版) <http://i.river.go.jp/>
- ◆国土交通省 中国地方整備局
(防災情報) <http://www.cgr.mlit.go.jp/saigai/saigai/index.htm>
- ◆国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
(防災情報) <http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/disaster/index.html>
- ◆気象庁
(ホームページ) <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ◆広島県
(広島県防災Web : パソコン版) <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/>
(広島県防災Web : 携帯版) <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/i/>